

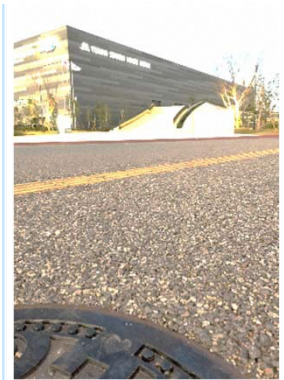
# FUKU51 MANHOLE PROJECT



恋する  
マンホール



マンホールで  
見つける、  
51の  
福岡の景



見えるもの  
だけがすべて  
じゃない。  
見えないと  
ころでつな  
がっている。



下水道管の点検や、中に溜まった土砂を清掃するための出入り口であるマンホール。

福岡市は、平成二年三月末に下水道普及人口一〇〇万人を突破したことを記念して、「下水道施設のイメージアップと市にふさわしい個性的なデザイン」というテーマで、マンホール蓋のデザインを募集し、全国七三五点の応募作品の中から選ばれたデザインを採用しています。選ばれたのは、鳥、ヨット、街並みなどを連想させる抽象的なデザインとの組み合わせが「人の都・福岡市のアクティブなイメージ」を生み出す、現在のデザインです。

福岡市の下水道は、昭和五年に博多・千代部の整備に着手し、平成三十八年度に、下水道事業八十年を迎えました。これを記念し立ち上がったプロジェクト「FUKU51 MANHOLE」。地下の見えないところで安全・安心なくらしを支えてきた、そして、これから先も支えていく下水道の姿。「見えないところにつながっている」をコンセプトとし、福岡の「福」とし、幸福の「福」、福岡に「来い」と「恋」、マンホールの形「円」と人とのつながり、巡りあいの「縁」を掛け、「福恋縁結び」として、福岡市のマンホールデザインの中に、ハートを刻んだ



この先も、見えないところにつながっている。

FUKU51 MANHOLE

福岡市下水道事業88周年記念マンホール蓋



マンホール蓋を製作しています。枚数は、限定51枚。下水道の存在に気付いてもらうきっかけとなり、そして、このマンホールを見つけた誰かの幸せが、縁が、これからますますつながっていきますようにというおもいを込めて、市内各地に設置を進めています。

福岡市のマンホールデザイン

この形が○の場合は、家庭や事務所などから排水された汚水（分流汚水・合流）、□の場合は、雨水（分流雨水）が流れていることを表しています。



この数字は、マンホール蓋がどれほどの荷重に耐えられるかを表しています。

FUKU51 MANHOLE（フクコイマンホール）は歩道での設置となりますが、探される際は、周りに十分ご注意ください。